

事業名	食肉等流通合理化推進事業費			調査番号	78
細事業名	肉畜鶏卵等生産出荷事業委託料	財務コード	195302		
担当部課室	農政 部 畜産 課 畜産企画 担当 (内線)	5256			

事業の概要

実施期間	始期 S57 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(委託)
目的	だれ(何)を対象に 畜産農家 農協等生産者団体 流通業者 その対象をどのような状態にして 肉畜鶏卵の飼養動向等を調査し、需要に応じた安定的な生産及び供給を行っている 結果、何に結びつけるのか 畜産物の需給安定と流通・販売体制の強化
内容	採卵用成鶏羽数、飼養動向及び鶏卵出荷状況の調査の委託(年2回) ブロイラーの飼養羽数及び出荷計画調査の委託(年3回) 委託先:山梨県養鶏協会 H27年度までは乗用馬需給動向調査(年1回/委託先:山梨県馬術連盟)も実施

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	調査回数	目標	6	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	0.0
		実績(見込)	6	6.0	6.0	6.0	5.0	5.0	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	鶏卵卸売価格(円/kg) 鶏肉卸売価格(円/kg)	目標	183円 643円	186円 628円	189円 613円	197円 614円	204円 618円	207円 622円	
		実績(見込)	181円 575円	207円 612円	216円 626円	227円 649円	205円 649円	205円 649円	
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		250	250	258	206	155	155	0	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	・鶏卵・鶏肉の卸売価格は目標値に対し、鶏卵で100.5%、鶏肉で105%となっている。 ・卸売価格は需給バランスにより決定されるが、この価格に大きな変動がないため、需要に応じた安定的な生産が行われている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

見直しの必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	これまでも必要な成果は上げており、これを上回る成果を出すことは困難である。
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )
その他	説明	
見直しの必要性	有	飼養動向を把握し、需給バランスを考えた生産となるよう指導・助言等を行うことは必要であるが、調査委託以外の方法で同様の成果をあげる手法等を検討する余地がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

廃止	説明	採卵用成鶏羽数、飼養動向及び鶏卵出荷状況の調査並びにブロイラーの飼養羽数及び出荷計画の調査については、家畜保健衛生所の農家巡回等で飼養動向を把握できるため、調査委託を廃止する。
----	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。